

## 支所発地域力向上支援金事業実施報告書（自己評価）

令和4年10月18日

地区名	芋井地区
事業名	普及冊子・漫画「飯縄山と神道無念流」発刊事業
団体名及び 代表者名	(団体名) 飯綱高原観光協会 神道無念流興隆プロジェクト 普及冊子編纂委員会 (代表者名) 小椋 真道 (連絡先) 026-254-6657 携帯 090-3096-6389

## ■事業概要

○神道無念流を一つの柱として、発祥の地である飯綱高原の飯縄山を象徴として取り上げた小冊子漫画「飯縄山と神道無念流」を発刊、飯綱高原の興隆に向け配布・周知する。	<b>【事業完了日】</b> 令和4年10月18日
○武道のメッカとしての地域興隆活動を進めるため、県内の剣道クラブを統括する長野県剣道連盟等の協力を得るための働きかけを続ける。	<b>【総事業費】</b> 399,300円
	<b>【補助金額】</b> 200,000円

## ■事業効果（目的の達成度・地域への貢献度等について）

○記念碑序幕式典に向け、新聞社と放送局に配布・説明。それにより取材を得、記事や報道番組で取り上げられ、飯綱高原における神道無念流の意義の広報に貢献することができた
○多くの方から冊子について高評価を頂いたが、それは冊子が漫画であったため読みやすかったこともあり、大変多くの方に読んでいただき内容を理解していただいたと感じる。
○普及冊子を作るなど積極的な姿勢が認められたためか長野県剣道連盟から今後の活動に向け積極的な反応があり、提案があった。

## ■自己評価（該当欄に○）

	予定を上回る	予定どおり	概ね予定どおり	予定を下回る
事業の実施		○		
事業の効果	○			
特記事項 (評価理由等)	漫画小冊子『飯縄山と神道無念流』の評判がよく、より広く広報するため増刷を検討すべきとの意見をいただく。 青少年に武道の「心」を伝えるという目的に叶うとして、長野県剣道連盟が賛同してくださり、様々なご提案を頂き、今後とも検討の場を持つこととなる。			

## ■今後の取組予定

○武道のメッカとしての興隆活動に向け、新たなプロジェクトチームを立ち上げ、詳細な事業計画を立てることとしたい。
○今後の活動のための資金集めをしなければならないが、青少年の育成を理念として、地域の企業を廻り賛助を得る活動をしなければならないと考える。